

アジェンダの考え方

■場の基準

- ・BM全体でしか議論できないものと、そうではないもので分類。
- ・原則、①予算 ②会則 ③体制 に関わるものは当日全体。

■分科会

- ・関係者のみで集まり、ミーティングを実施。
- ・時間は関係者で調整の上設定。20日(土)19時以降、別日にSkypeなど。
- ・「関係者」は当日提示します。

■性質での分類

- ・当日はディスカッションのみ。

【概要】

2018年1月20日(土)@東京キャンパス
12時 : サピアタワー2階集合、ランチ
13時～19時 : ミーティング

*1月21日(日)は実施しません。

【参加者】

代表 吉田 聖崇
副代表 黄竹君(ミッシェル)/ 国嘉 こか(コッカ)/ HARIGA Maharani(マハラニ)
ディレクター 岡田 祥伸/ 芦村 夢樹/ANANDAGODA Channa /

■20日に全体でディスカッションするアジェンダ

項番	アジェンダ	内容	時間	提案者	場	資料No.	議事録
1	全体感	1年の活動の振り返り&来年度の全体感	20	吉田	当日(全体)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・代表が変わる ・RLMの開催方法が変わる(大分とタイで開催) ・監査が今年度より2回実施になった。次年度も同じように行う。 2017年スケジュール共有 ・チャプターが4つ増えた ・学長選考委員に卒業生が2名任命された。
2	予算	今年度予算執行額の着地込み、来年度の方針・進め方、2018年版経費マニュアル(経費申請チェックリストの改正、ベビーシッター制度改正)、校友会費キャンセル防止取組、有償事業の進捗報告	45	岡田	当日(全体)		<p>(予算・執行情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回費徴収の方法が適応されなかった件について代表より大学に強く協力依頼をする。 ・会費収入が要。4回生に再度未納者に対して納付を促すようにしたい。国際学生も国内学生と同様に入学前に納付をするようなシステムにするよう検討。 ・会費収入減のため、予算は1800万にするよう検討 ・有償事業について検討。(プラットフォーム作成、有償事業する場合は法人化した方がいい)今後分科会を実施し、クリアにしていく。 (経費申請書) ・経費申請書の基準変更、具体例を掲示 (経費マニュアル) ・チャプターイベント実施において、当初の予定通りもしくは指示された内容に実施できない場合は随時連絡をしてもらうよう明記。 ・イベントグッズはAPUのグッズのみと明記。 ・ベビーシッター制度について変更(幹事会についてもサポート・イベント時のサポートが1人1時間あたり上限3,000円)①のサポートは継続、②・③についてはあり方を考える。 子持ちの校友にヒアリングをして、子持ちでも参加しやすいイベント作りを検討する。 RLMで意見交換。来年のボードMTGで決める。
3	次年度体制 (ボード内)	次期体制案のシェア、確定	100	こっか	当日(全体)	2	<p>ボードを選出し直す。</p> <p>意図: 今までのボードがかなりCLOSEDなため、よりOPENにしたい。</p> <p>皆にちゃんと選んでもらうようにしたい。</p> <p>ボードとして、各自の裁量を大きく役割を明確にする必要がある。</p> <p>ボード内役割: ポジションのタイトルを作る。</p> <p>(ボードメンバーの決め方について)</p> <p>新体制になるまで今のポジションは現状維持</p> <p>体制検討委員会発足(構成についてはボードメンバー・チャプターリーダー: 参加したい人)2・3月中</p> <p>選挙委員会発足(構成についてはボードメンバー・チャプターリーダー: 参加したい人+応募しない人)4月中</p> <p>5・6月中に選挙を行う</p> <p>全校友へボードメンバーの公募をする</p> <p>チャプターリーダー、今のボードメンバー(今回応募する人は除く)が投票を行う。</p>
4	次年度体制 (ステークホルダー)	①「名誉会長」の資格。必ずしも学長ではなく、大学役職者の適任者にしたい。 ②ボランティアプロジェクト今後の担当アサイン	10	吉田	当日(全体)	3	<p>①代表が名誉会長についての仕事を提示。役職者の中で希望者がいるかヒアリング。</p> <p>会則変更について全員一致。</p> <p>②ボランティアプロジェクト</p> <p>投資を事前にする新形式(事前に資金を渡す)。</p> <p>体制についてはSAチーム内で担当を決める。</p>
5	会則 (チャプター関連)	チャプターリーダーマニュアル変更に伴う会則変更。 第8条 CLの任期→(任期は1年とする。ただし、再任は2度までとする。) 第9条 (4)→(役員は、総会にて決定する。)	30	津村	当日(全体)	4	<p>CLの任期。4年として2期まで再任可。(現在のリーダーについては過去の任期も含める)</p> <p>役員は総会にて決定する。</p> <p>→チャプター会則、校友会会則ともに変更</p>
6	会則 (役職者の罷免)	ボードメンバーの罷免方法。CLの罷免方法。	20	吉田	当日(全体)	5	<p>第12条を訂正する。罷免委員会が判断。罷免したい人がいた場合、事務局へ連絡。その後事務局から代表に連絡。</p>

7	会則 (その他)	その他体制変更等に関わる会則変更	30	吉田	当日(全体)	5	体制が整った段階で会則の内容を検討。顧問弁護士より意見をもらいながら進める。
7	大学貢献 (年間)	大学役職者とのMTG設計する一次年度以降の協力方針	10	吉田	当日(全体)		今後役職者と面談を持ちながら方向性を考える。
8	大学貢献 (寄付)	APUの図書館の校友会支援コーナー。金額が大きいためここで議論。	10	吉田	当日(全体)	6	校友会の広報になる(広報拠点)。中身を充実させる(校友会から)もっとデザインについて校友で考えたい。 アカデミックオフィス職員金子とケビン、津村、ミッシェルでスカイプMTGを行う。 支払い方法について要確認。 提案のあったAプランの金額を上限に検討。 キックオフメールを代表より送る。
9	大学貢献 (活動)	大学院イベントの開催のニーズについて	20	吉田	当日(全体)		Lectureの場合は需要無し。大学院へ行くための指導であれば必要。
10	パンフレット	・内容の確認 ・ポートの写真を撮影	10	ミッシェル	当日(全体)		各ボードメンバー、全体写真を撮影。 3月1日納品予定
11	20周年	・20周年実行委員会の実行委員長を決める。 ・今後のおおよその方向性を決める。	10	吉田	当日(全体)		10周年の実行委員長をされた、八木さんをお願いをする。 コミッティーをつくる。
12	ルーパスの今後の運営	ルーパスの強みを生かした活動内容について考えたい。	20	事務局	当日(全体)		・在校生に校友会を伝える機会をつくる*広報部隊と連携して実施 ・はじめの半年はルーパスが学ぶ時期、あとの半年はルーパスが企画、発信する時期としたい。 よって、学ぶ時期に卒業生に協力してほしい →4月にコッカさんが訪問、ルーパスメンバーとのMTGの場をもつ。 ・2つのチャプターごとに学生が1人担当したい。 ・ルーパス担当の校友会ボードメンバーについて →新体制になるまでコッカさんがサポート。新体制で担当を決める。
	今後の進め方	上記までの議論を踏まえ、今後の進め方(分科会含め)を確認します。	20	吉田	当日(全体)		
			小計時間	355	5.91667	h	

(全体ディスカッションから外したアジェンダ)

項番	アジェンダ	内容	提案者	場	ネクストステップ
A	RLM	・次年度RLM概要シェア ・視察を内容に入れる(インドでは現地事情が参考になった) ・現地費用を含めるか、含めないか。	吉田	分科会	関係者でMTGの場を持つ
B	校友会奨学金	・現状共有 ・金額の増加、対象者の増加について議論 ・表彰式の参与	ミッシェル	分科会	関係者でスカイプMTGのち資料をボード内で共有
C	校友会費回収	国際学生の校友会費の支払いが少ない。学生時代に校友会のことを伝え、メリットを知ってもらい、会費回収を増やしたい。	事務局	分科会	PRポイントを増やす。 入学前のオリエンテーションで校友会について話す時間を持つ。 図書館の本棚設置で広報を行う。 ルーパスからの広報についての協力等検討。 プール金の取り扱いについて要注意、監査、財務と話し合い 注意点をマニュアルに明記する。
D	Jumboパーティーの考え方	拡大しているJumboパーティーのあり方・支援方法について	事務局	分科会	
E	卒業式の校友会宣伝	・現状シェア ・新たな案 ・LOOPASの関与	ミッシェル	分科会	ミッシェル、コッカ、事務局、ルーパスでMTGの場を持つ
F	20周年	校友会として20周年企画にどのように関わっていくかの話し合い	事務局	別日	実行委員長任命後、委員会に一任する。
G	APU校友会データベース、HP	現在の校友会データベース、HPについて、意見交換を行う(改修を含め)	事務局	別日	プロジェクトアサイン(ボード外も含め)
H	チャプタートレーニングマニュアル	マニュアルの内容確認	津村	別日	津村さんに意見をメールで送る(2月中)
I	新規チャプタ設立に関するシェア	・アメリカ(ミッシェル) ・オーストラリア(吉田)	ミッシェル、吉田	別日	メールでシェア